

令和8年度 和歌山市立宮小学校スクールプラン

和歌山市学校教育目標

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の充実
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域とともにある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 子どもの学力を定着・向上させてほしい
- いじめのない明るく楽しい学校にしてほしい
- 優しい心をもった子どもに育ててほしい
- 心身ともに健康な子どもに育ててほしい
- 挨拶のできる子どもに育ててほしい
- 地域に誇りをもってほしい
- 保護者・地域との連携協力の充実

【学校教育目標】

心身共にたくましく、あすの社会を築く、
創造性豊かな子どもの育成

【めざす児童像】

- ・ 向上心を持ってがんばる子
- ・ 心が豊かでやさしい子
- ・ 心身共に明るく健康でたくましい子

前年度の学校評価

- 学力には二極化が見られる
- 学力向上と同様に心の育成にも力を入れていく必要がある
- 学校の様子を地域に伝え共有すると共に関わる機会を増やしていく

児童の実態

- 明るく素直な子供が多い
- あいさつができる
- 与えられたことはきちんとできるが、自ら判断し行動する力に課題がある
- 言葉遣いや友達との関わりに課題がある子もいる
- SNS等によるトラブルが増加
- 学校が楽しく、毎日の勉強が分かる子も多いが更なる努力も必要

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎・基本の確かな定着
- ◎子ども主体の授業推進
- 家庭学習の定着
- 読書活動の推進

具体的な取組

- 子ども主体の授業づくりにおいて、「聞く力」「関わり合う力」「活用する力」の3つの力を育成する
- 「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」を徹底させた授業を行う
- 発達の段階に応じた家庭学習の手引きを作成し活用するとともに、保護者と協力しながら定着を図る
- 学校図書館を有効に活用した授業実践に努めるとともに、読書活動を推進する

指標

- 子どもがわかる授業、子どもの自主性自発性を大切に授業を実践する(90%)
- 全国学調・県学習到達度調査で基本問題の正答数が平均を上回る
- 読書が好きな子(80%)

豊かな心の育成

- ◎同和・人権教育、道徳の充実
- ◎いじめの未然防止、早期発見
- ◎進んで挨拶・仲間づくりの実施

- 教科等指導、生徒指導、学級経営において、より良い人間関係を構築し子どもの自己肯定感を高めるとともに、人権教育をベースとした包括的教育に取り組む
- いじめアンケートを年間に複数回実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める
- 様々な活動を通し本物に触れる・感じる機会を増やすことで五感の育成に繋げていく
- 情報モラルや携帯電話・スマートフォン・SNS等の安全な利用について、指導を促進する

- いじめのない学校づくり(100%)
- 学校が楽しいと感じる(児童95%)
- 携帯電話・スマホ・PCの使い方について家の人と約束したことを守っている(児童90%)

健やかな体の育成

- ◎基礎的生活習慣の確立
- ◎体力向上の推進
- 保健指導の充実(体の成長・姿勢・歯磨き・アレルギー等)
- 危機回避能力の育成

- 「早寝・早起き・朝ごはん」を推奨し、家庭と連携して取り組む
- 意図的・計画的・組織的な体育学習を実施する(学習した内容の生活化を図る等、運動好きな児童を育成する)
- 宮健康チェックシートで自分の生活や体について知る機会を持たせ、自己管理ができるように支援する
- 避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する

- 「早寝・早起き・朝ごはん」に家庭で取り組むとともに、全校で体力づくりを行う(100%)
- テレビやゲームの時間を短縮できるように保護者と連携して取り組む(90%)
- 避難訓練を年3回計画・実施する

地域とともにある学校

- ◎家庭・地域との連携充実
- ◎地域の資源活用の推進
- 保幼小の接続、中学校区における学校間連携の推進
- 学校からの積極的な情報発信

- 各種便り、HP等を通して積極的に学校の情報を発信する・授業や行事等を積極的に公開する
- 情報交換・見学・交流会などを通じて、保幼小の接続、中学校区での小小、小中の連携を推進・充実する
- 授業のゲストティーチャー、読み聞かせボランティア等の人材や、地域の自然・文化を積極的に活用する

- 学校の情報を発信し、子どもたちの活動の様子等を、保護者や地域に伝えられるようにする(90%)
- 校区で接続・連携の充実に向け実践する(90%)
- HPを積極的に活用する

◎…特に重点的に取り組むこと